

添付文書より引用

	基準	本剤の投与量調節
間質性肺疾患	Gradeを問わない	投与中止
QT間隔延長	QTc 500msec超が2回以上	ベースライン又は481msec未満に回復するまで休薬する。投与再開時には、投与量を150mg減量する。
	QTc 500msec超、又はベースラインからのQTc延長が60msec超、かつTorsade de pointes、多形性心室性頻脈又は重症不整脈の徴候・症状ある	投与中止
徐脈	症候性で治療を要する重篤な場合	無症候性又は心拍数が60bpm以上に回復するまで休薬する。投与再開時には、投与量を150mg減量する。
	生命の危険があり緊急治療を要する場合	投与中止
高血糖	適切な治療を行っても250mg/dLが持続	血糖がコントロールできるまで休薬する。投与再開時には、投与量を150mg減量して再開する。
リパーゼ又はアミラーゼ増加	250IU/L<アミラーゼ	アミラーゼ<125IU/Lに回復するまで休薬する。投与再開時には、投与量を150mg減量する。
悪心・嘔吐・下痢	・Grade3以上 ・適切な制吐剤又は止瀉薬の使用にもかかわらずコントロールできない場合	Grade1以下に回復するまで休薬する。投与再開時には、投与量を150mg減量する。

適正使用ガイドより引用(添付文書に記載のない内容)

	基準	本剤の投与量調節
好中球減少(ANC)	ANC<500/ μ L	ANC \geq 1000/ μ Lに軽快するまで投与中断後: 7日以内に軽快した場合、同じ用量で投与再開 軽快までの期間が7日を超える場合、1レベル減量して投与再開
	発熱性好中球減少症	臨床的に軽快し、ANC \geq 1000/ μ Lに軽快するまで投与中断後、1レベル減量して投与再開
血小板減少	25,000 \leq Plt<50,000/ μ L	Plt \geq 50,000/ μ Lに軽快するまで投与中断後: 7日以内に軽快した場合、同じ用量で投与再開 軽快までの期間が7日を超える場合、1レベル減量して投与再開
	Plt<25,000/ μ L	Plt \geq 50,000/ μ Lに軽快するまで投与中断後、1レベル減量して投与再開